



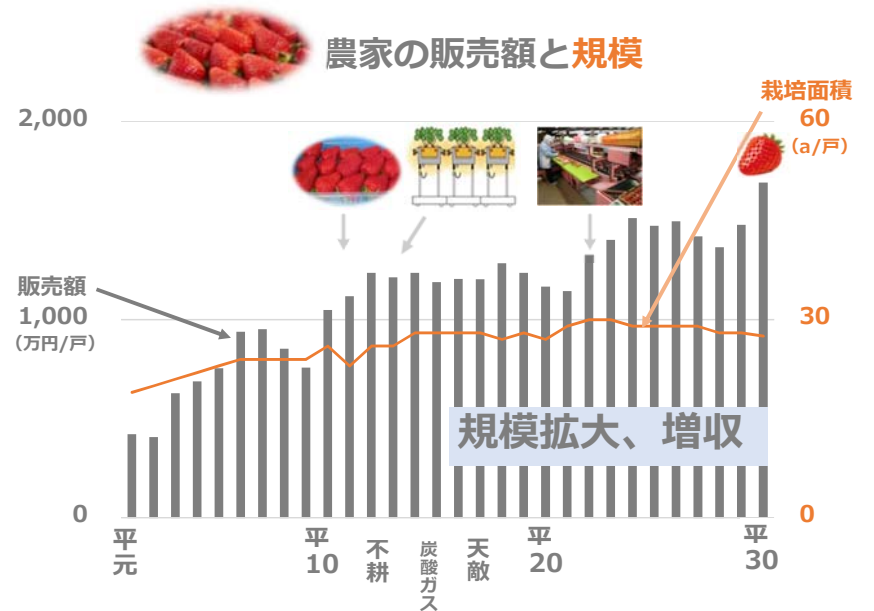
1.主要作物の成長

2.上場営農の将来ビジョン

3.当センターの研究方針



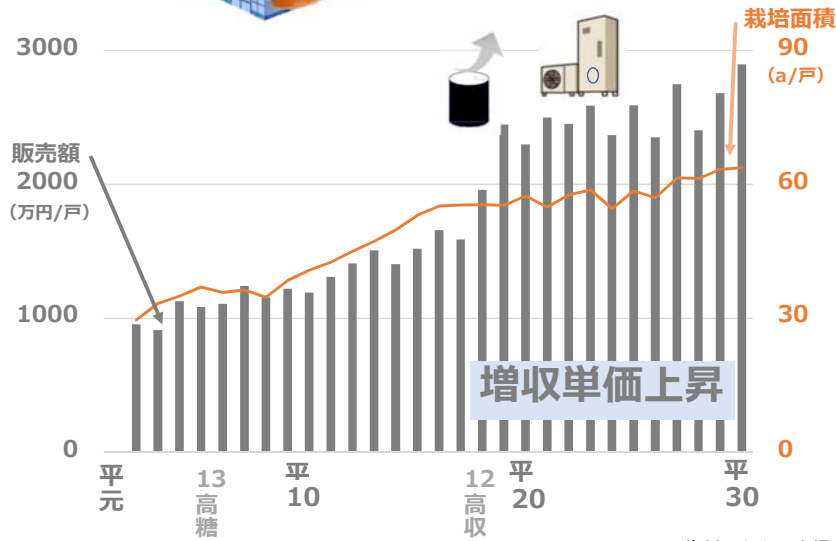
資料JAからつ上場



資料JAからつ上場



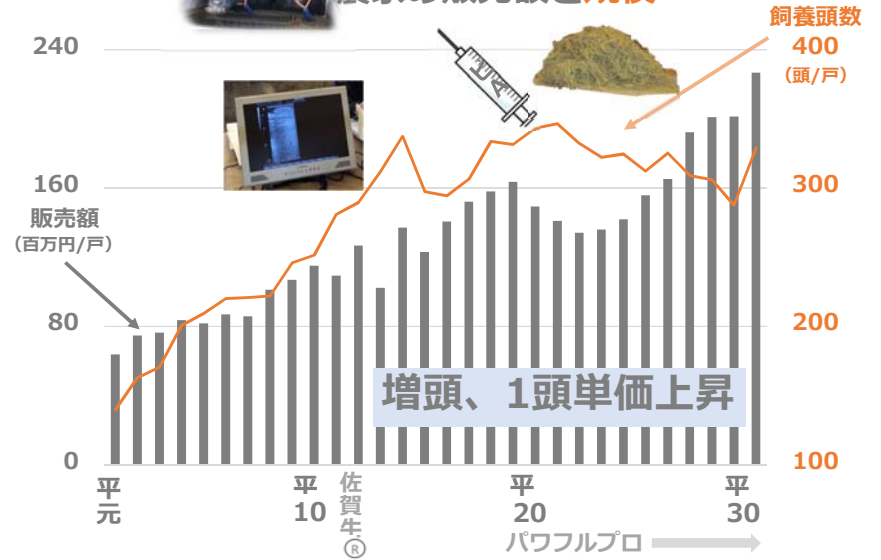
農家の販売額と規模



資料JAからつ上場



農家の販売額と規模



資料JAからつ上場

将来ビジョン

「やりがいと魅力ある上場営農」

農家の現状

園芸売上 400~3,000万円
 園芸規模 28~104a
 肥育牛 2億円、330頭

課題

後継者不足
 高齢化 労力不足
 資材高騰 鳥獣害
 遊休地の増加 単価伸び悩み

目指す将来

高所得 業務加工用契約
 大規模 観光農業
 集落営農 こだわり農産物
 異業種協業 こだわり加工品

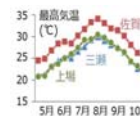
みんなが生き生き



上場地域の特徴



標高100m台地
 地形錯綜
 対馬暖流で
 一部無霜地帯
 夏冷冬温



将来ビジョン

やりがいと魅力ある上場営農

目指す目標は？



所得で1,000万円以上

	販売額	所得率
露地・施設園芸	3,000万円	× 33%
肥育牛	2億円	× 10%

将来ビジョン

やりがいと魅力ある上場営農

どうすれば？



- 露地園芸 → 省力化、品質向上、多収、低コスト、新たな作物
- 施設園芸 → 品質向上、多収、環境制御、低コスト
- 肥育牛 → 肉質量向上、短期、環境改善、低コスト

9

10

農家の所得

所得 = 収量 × 単価 - コスト



研究方針

1. 生産力を強化する技術開発 3千万/戸
2. スマート農業等を利用した次世代農業技術の開発 露地50hr/10a
2,000hr/人
3. 高所得を実現する新品目の生産技術開発



将来ビジョン

「やりがいと魅力ある上場営農」

達成するには、
地域性、革新的技術、情熱



11

12